

アーリントンカップ

キングマンボ系が強いレース。

2019年に12番人気の人気薄で1着のイベリスは父キングマンボ系。

雨が降って重馬場だった昨年の当レースも勝ち馬のハウオウアマゾン、2着のリッケンバッカーはいずれも父キングマンボ系。

イベリスは母父が米国型でボールドルーラー系のボストンハーバー。姉が1000m重賞勝ち馬。

ハウオウアマゾンは母がボールドルーラーのクロス。母母父がエーピーインディ。

リッケンバッカーは母父が米国型でインリアリティの血も持つシティジップ。

それぞれ米国の一流スピード血統も併せ持つ馬。

本命はディオ。

父がキングマンボ系のリオンディーズ。
同コースの2歳G1朝日杯FS勝ち馬。
母系にアメリカの超一流血統ストームキャット。
前走は結果的に末脚削がれる馬場と距離延長が合わず。

相手もダノンスコーピオン。
父はキングマンボ系のロードカナロア。